

## 平成16年度第9回理事会議事概要

日 時 平成16年12月17日（金） 13：30～14：00

場 所 特別会議室

出席者	理事長	田 中	潔
	理事（企画・総務担当）	藤 原	敬
	理事（森林研究担当）	桜 井	尚 武
	理事（林業・木材産業研究担当）	池 田	俊 彌
	監事	今 村	清 光
	監事	井 上	徹 雄
	企画調整部長	石 塚	和 裕
	総務部長	周 藤	眞
	事務局（企画科長）	藤 井	智 之
	事務局（総務課長）	加 藤	秀 春

### 1. 開会

### 2. 議事

#### （1）見直しの動向報告について

（藤原理事）

独立行政法人の事務・事業の見直しについては、12月10日に総務省政策評価・独立行政法人評価委員会から各省の主務大臣への見直しに関する勧告の方向性の通知・公表が行われたところである。森林総研へは地方組織における事務及び事業の見直し、試験及び研究業務の重点化、研究支援部門の合理化等、非公務員による事務及び事業の実施、研究職の活性化といった見直しの方向性が示された。これを受けて農林水産省内における見直し案作成作業を行い、12月24日に農林水産省の見直し案が政府行革本部で決定される予定である。

なお、この見直し案は次期中期計画の記述内容にも反映することになることを申し添える。

(田中理事長)

報告のあったとおり了解する。

(2) 一般職員の採用内定について

(加藤総務課長)

<資料1：一般職員の採用内定についてにより説明>

(田中理事長)

報告のあったとおり了解する。

(3) 平成17年4月研究職員（選考採用）の公募について

(石塚企画調整部長)

<資料2：平成17年4月研究職員（選考採用）の公募についてにより説明>

独立行政法人の見直しにかかる勧告の方向性にも明記されているが、研究職員の任期付任用については来年度以降検討したい。

(今村監事)

公募する研究室によって応募年齢に違いがあるがこれは何か。

(石塚企画調整部長)

研究職員俸給表の2級及び3級への格付けを考慮した関係からこのようにしている。

(今村監事)

募集する分野が狭いこともあり、いろいろと狙いはあると思うが、他から見ればこの年齢で制限している意図が理解しにくいこともあり、誤解を招きかねない。今後の非公務員化ということを考えると原則的に幅広くということも必要だと思う。

狭い分野に選考採用といった今までのやり方は、他から見れば穴埋め的に見えてしまう。

また、任期付任用を今後どのように考えていくのかも検討すべきである。森林の「総合研究所」であるというところから見れば、幅広く人材を集めるといった意味で任期付任用に対する基本的な考え方を出し

ていく必要があると思う。

(池田理事)

応募No.5の採用条件の中にタイトルとして「熱帯における郷土樹種を用いた森林修復技術の開発」とあるが、分野が狭く研究課題的になるので、この中の郷土樹種を削除してもっと幅広にしてもよいのではないかな。

(石塚企画調整部長)

研究職員の募集に際して、当面5年間の研究課題を念頭に設定してきたところである。1つの方法としてタイトルを幅広にして、研究領域のキーワードを狭くといった方法もあり、今後の検討課題としたい。

(今村監事)

選考採用公募の資料の1枚目に「並びにI種採用を考慮しつつさらに補充する必要がある・・・」とあるが、これはI種採用をした上でと取れるがどうということか。

(石塚企画調整部長)

I種採用については適任者がなく採用していないが、森林総研への選考採用の条件としては人事院が定める基準が残っている関係からこのような書き方にしている。書き方については今後検討したい。

(田中理事長)

説明のあったとおり了解する。

次回の平成16年度第10回理事会は1月21日(金)を予定する。

### 3. 閉会